

2026 年 1 月 21 日

株式会社日立製作所

株式会社日立ビルシステム

ホームエレベーター事業の合併解消に関するお知らせ

ドメインナレッジと先進 AI を組み合わせた次世代ソリューション群「HMAX for Buildings : BuilMirai」をはじめとした、ソリューションを提供可能な事業に経営資源をシフト

株式会社日立製作所(以下、日立)は、三菱電機ビルソリューションズ株式会社(以下、三菱電機ビルソリューションズ)との合併会社である三菱日立ホームエレベーター株式会社(以下、三菱日立ホームエレベーター)について、このたび、日立が保有する全株式を三菱電機ビルソリューションズに譲渡することを決定し、株式譲渡に関する契約を同社と締結しましたので、お知らせします。2027 年 3 月期第 1 四半期中に本株式譲渡を実施する予定です。

日立は新経営計画「Inspire 2027」において、キャッシュフロー強化やキャピタルアロケーション最適化、そしてポートフォリオ改革を加速するとともに、グループ全体で「真の One Hitachi」を実現し、企業価値のさらなる向上をめざしています。本株式譲渡を通じて、日立はエレベーター事業において、標準型「アーバンエース HF シリーズ」やオーダー型に経営資源を集中し、建物内のスムーズな移動という基本機能に加えて、日立グループの AI やデジタル技術を活用した付加価値のさらなる向上に取り組めます。具体的には、エレベーターから生成される稼働データや過去 30 年にわたる点検記録などのドメインナレッジを活用し、先進 AI を組み合わせた次世代ソリューション群「HMAX for Buildings : BuilMirai(ビルミライ)」を通じて、メンテナンス品質の向上やオペレーションの効率化を推進していきます。

なお、本株式譲渡による、日立の連結業績への影響は軽微です。

現在、日立および株式会社日立ビルシステム(以下、日立ビルシステム)が納入し、保全契約を締結しているホームエレベーターについては、契約満了まで引き続き日立ビルシステムが責任を持って対応します。

日立の CI セクターでは、プロダクトの豊富なインストールベース(デジタルライズドアセット)のデータにドメインナレッジと先進 AI を組み合わせた産業分野向け次世代ソリューション群「HMAX Industry」を、成長産業へ水平展開する「Integrated Industry Automation」に注力しています。日立ビルシステムは CI セクターの一員として、HMAX for Buildings : BuilMirai の提供を通じて、フロントラインワーカーの現場を革新するとともに、人々のウェルビーイングの向上に貢献します。

三菱日立ホームエレベーターの概要

会社名	三菱日立ホームエレベーター株式会社 (*日立保有株式の譲渡後、社名は変更される見込みです)
所在地	岐阜県美濃市楓台 38 番地
代表者	取締役社長 荒木博司
事業内容	ホームエレベーター、小規模建物用エレベーター、小規模共同住宅用エレベーターの開発・設計・生産・販売・取付
資本金	10 億円/(株式会社日立製作所 50%、三菱電機ビルソリューションズ株式会社 50%出資)
従業員数	約 230 名(2025 年 3 月末時点)

商標注記

・記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エネルギー、モビリティ、コネクティブインダストリーズの4セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略SIBビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumadaをコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2024年度(2025年3月期)売上収益は9兆7,833億円、2025年3月末時点で連結子会社は618社、全世界で約28万人の従業員を擁しています。詳しくは、www.hitachi.co.jpをご覧ください。

お問い合わせ先

株式会社日立ビルシステム

カスタマーサポートセンター

0120-7838-99

(フリーダイヤル)